

お知らせ

N E W S

発行：2024年6月

- Topics…重粒子線治療の公的保険適用部位が増えました
- 取組案内1…第三内科 ● 取組案内2…がん相談支援センター（がん患者相談室）

附属病院の最新の医療を紹介する広報誌VOL.26が出来上がりました。これを機会に当院の医療を知っていただき、地域のリソースとして有効に活用していただければと思います。

Topics

重粒子線治療の公的保険適用部位が増えました

山形大学医学部東日本重粒子センターでは、安定的な施設運営のための年間目標患者数を600人と設定していましたが、昨年度は目標を大きく超える662人に重粒子線治療を施行し、目標を達成することができました。要因を分析すると、山形県内の数多くの患者さんから当センターを選択していただいたことと、肝臓や膵臓など保険適用部位が増えて95%以上の患者さんが保険診療で治療できるようになったことが大きいと考えています。2021年2月の開業以来1602人(4月末現在)の治療を実施しました。多くの患者さんをご紹介いただいた医療機関の先生方には謹んで御礼申し上げます。これからも患者さんに喜んでいただけるような治療を提供し続けることができるよう、センターを挙げて取り組んでまいります。

また今年6月1日からは、これまでの保険適用8疾患(頭頸部腫瘍、前立腺癌、局所進行肺癌*、長径4cm以上の肝細胞癌*、肝内胆管癌*、大腸癌術後骨盤内再発*、子宮頸部腺癌*、骨軟部腫瘍*)に加えて、I~IIA期の肺癌*、長径6cm以上の子宮頸部扁平上皮癌*、婦人科領域悪性黒色腫*の3疾患が新たに保険適用になりました。対象となる患者さんには是非当センターでの重粒子線治療も治療の選択肢としてご考慮いただければと存じます。

北日本で唯一重粒子線治療を提供できる施設として、これからも益々たくさんの方の患者さんにご利用いただけるよう、日々の着実な治療と広報活動を続けてまいります。これからの東日本重粒子センターをどうぞよろしくお願いいたします。

*手術による根治的な治療法が困難なものに限る



回転ガントリー照射室



取組案内 1 第三内科

血液内科：血液疾患疑い例の診断から最新治療まで、様々な血液疾患に対応

血液疾患の多くは日常的な症状で発症、しばしば診断に難渋し、治療には高い専門性を要します。当院外来では血液疾患疑い例から、明らかなものまで広く迅速に対応しており、入院は治療を要する方を中心に受け入れています。当院は県内唯一の移植認定施設であり、最新の細胞治療の実施も可能です。多くの新薬の治験も実施しており、難治例への対応も充実しています。

糖尿病・代謝内分泌内科：専門的知識と経験豊富な医師陣が、最適な治療を提案

当科では、糖尿病や内分泌代謝関連の専門的知識と経験豊富な医師陣が、最新の治療法やガイドラインに基づき、最適な治療計画を提案いたします。糖尿病では、SGLT2阻害薬やGLP1受容体作動薬の適切な使用で、患者のQOL改善を目指した治療を図っております。加えて、較正不要の自動インスリン注入システムであるAdvanced Hybrid Closed Loopを導入し、基礎インスリンの自動調整機能に自動補正機能を追加した新たなテクノロジーで、より安全で質の高い血糖管理行っております。治療困難な患者を是非ともご紹介ください。

脳神経内科：神経筋電気診断（筋電図）の専門性を活かした診療

筋萎縮性側索硬化症や末梢神経疾患、重症筋無力症では、MRI検査で異常がわからないことも多く、中枢磁気刺激による誘発筋電図や体性感覚誘発電位、単線維筋電図などの筋電図検査が診断に力を発揮します。これらの専門的検査が可能な施設は県内でも限られます。当院は日本臨床神経生理学会の認定施設であり、同学会の専門医が常勤しており、通常の筋電図検査を含め、常に質の高い検査を提供できるように努めております。



血液内科



糖尿病・代謝内分泌内科



脳神経内科

取組案内 2 がん相談支援センター(がん患者相談室)

がんに関する困り事はありませんか？ 『一人で抱え込んでいることはありませんか？』

がんと診断されると、治療やそれに伴う副作用、合併症だけでなく、日常生活や就労、病気との向き合い方など、様々なことに対する疑問や悩み、不安が生じてきます。患者さんができるだけ安心して、治療に専念できるように、患者さんやご家族の抱える問題への支援が必要になります。

当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されており、2007年に「がん相談支援センター(がん患者相談室)」を開設しています。相談員研修を修了した看護師、医療ソーシャルワーカーが、患者さんやご家族の話を伺い、問題解決に向けた糸口を一緒に考えていきます。患者さんやご家族がその人らしい治療選択や生活ができるように、困り事ができるだけ少なくなるように、患者さんやご家族に寄り添いながら支援しています。

当院に受診歴がなくても相談は可能です。治療や症状・副作用・後遺症への対応、お金、進学、就労、不安や疑問、日常生活の困り事など、どんなことでも相談できます。がんゲノム医療や重粒子線治療などに関する相談も受けています。全てを解決することは難しいですが、困り事がある方は、がん相談支援センターをご利用ください。

●相談方法:電話もしくは対面での相談になります。アピアランスケアコーナーは完全予約制となります。

◇場所:がん相談支援センター(地域医療連携センター内)

◇時間:平日9時~16時 ◇受付電話:023-628-5159

